（様式１－１）

学校番号		学校名	茨城県立勝田中等教育学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

教育基本法
学校教育法
学習指導要領
地区の教育委員会の教育目標・教育施策

校訓

創造　Create
協働　Collaborate
挑戦　Challenge

生徒の実態

・女子の学力が高く、こつこつ学習を積み重ねることを厭わない。男子は女子に比べると、粘り強く繰り返し学習できるように、支援が必要である。
・友達に対して優しい気持ちで接する生徒が多いので、互いのよさや特性を尊重し、励ましあえる関係つくりを促進したい。

学校の教育目標

グローバルな視野と起業家精神を兼ね備え、自ら人生を切り拓くとともに、「地域」と「世界」をつないで地域創生に貢献するグローカルリーダーを育成する。

保護者の願い

・個々の生徒の良さを見出し、さらに伸ばすことで、将来の夢の実現につなげたい。

道徳教育重点目標

・思いやりの心をもち、自他の生命を尊重する態度を育てる。
・集団におけるよりよい人間関係を築き、いじめや差別のない社会の形成に主体的に参画しようとする意欲を育てる。
・自立心や自律性を高め、よりよく生きようとする心を育てる。

地域の実態

・学校の教育活動や、生徒の活動に関心を寄せて、注視してくださるが、積極的に声をかけるなどの関りは薄い。

各教科・科目

国語	・正確に理解したり適切に表現したりする資質・能力を育成するうえで、社会生活における人との関わりのなかでの伝え合う力を高める。
社会	・グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力の基礎を養う。
数学	・数学的な活動の楽しさやよさを実感して粘り強く考え、生活や学習に生かそうとする態度を養う。
理科	・自然と人間との関わりを認識させ、生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。
音楽	・音楽を愛好する心情や感性を育て、美しいものや崇高なものを尊重する態度を養う。
美術	・感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
保健体育	・様々な運動の経験を通して、粘り強くやり遂げ、ルールを守って集団に参加し協力する態度を養う。
技術家庭	・生活を工夫し創造する資質・能力を身に付け、勤労の尊さや意義を理解し、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって、生活や社会をよりよくしようとする態度を育てる。
外国語	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

各学年ごとの指導の重点

1年次
・相手の気持ちを考え、ともに問題解決を図っていく場を計画的に設けることで、様々な考えや価値観と出合うことができるようにする。
・基本的な生活習慣を身に付け、規律ある生活の定着を図る。
・主体的な学びを通し、知識・技能を身に付けながら、個々の夢を実現するために、挑み続ける態度を育てる。

2年次
・友情の尊さを理解し協力し合う心を育てる。
・あらゆる生命の尊さについての理解を深め、互いに支え合って生きていこうとする心を育てる。
・誰に対しても公正・公平に接し、よりよい集団をつくっていこうとする態度を培う。

3年次
・将来の生き方を考え、より高い目標に向けて努力しようとする態度を育てる。
・生命に対する畏敬の念をもち、人間として気高く生きようとする態度を育てる。
・人権尊重の精神を培い、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする意欲を育てる。

特別活動

・学級の諸課題を見出し、自治的に解決していこうという態度を育てる。
・自らの生活を振り返り、粘り強く目標を達成させようという態度を育てる。
・学校生活の向上のために、異年齢によるよりよい人間関係作りをしながら、課題解決に取り組む態度を育てる。
・社会体験や自然体験、幼児児童、高齢者や障害のある人々などとの触れ合い等を通して、自律的態度、心身の健康、協力、責任、公徳心、勤労、社会奉仕にかかわる道徳性を育てる。

総合的な学習の時間

・自然体験やボランティア活動等の社会体験を探究的な見方・考え方をはたらかせて行い、自己の生き方についての考えを深める。
・探究課題の解決を通して、主体的に判断し、粘り強く考え、他者と協調して生活しようとするなどの資質・能力を育てる。

道徳の時間の指導方針

・自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を行う。
・生徒の実態を踏まえ、各教科や体験活動、いじめ防止のための対策に関する方針や情報教育と関連づけた効果的な指導を行う。
・問題解決的な学習や体験的な学習など多様な指導方法を取り入れる。
・教師が交代で学年の全学級を回り道徳の授業を行うなど工夫し、指導と評価の一体化をはかる。

生徒指導

・教師と生徒、生徒相互の心の交流を図り、生徒一人一人が意欲をもって将来を展望できるよう援助する。
・いじめの防止や安全の確保に資するよう留意する。
・よりよい学校生活となるよう、生徒に対しては学年、学校全体で組織的に取り組む。

特色ある教育活動や体験活動

・全ての教育活動において道徳的実践を促すほか、職場体験活動、地域の行事への参加など、豊かな体験の場を充実させ計画的に設定する。
・勤労観・職業観や、地域の一員としての社会参画の意欲を高める。

学級・学校の環境の充実・整備

・生徒相互、教師と生徒の豊かな言語環境を整える。
・教職員の協働意識を高め、チーム実践を心がける。
・校内設備のユニバーサルデザイン化を行う。
・校庭・校舎内の美化に努め、季節感のある自然環境づくりをする。

家庭・地域社会などとの連携

・ゲストティーチャーを招いての公開授業を行う。
・他校種との合同の研修会を行い、連携や交流を深める。
・道徳教育にかかわる情報の発信を行う。
・教師と保護者との信頼関係を高める。